

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	幼児と言葉		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)
本授業は領域「言葉」に関わる保育内容と指導法について理解することを目的とする。また、保育現場における事例から実践的な指導・援助の方法や集団遊びの指導計画案の作成、教材研究を行うことによって自身の保育実践力を高める。必要に応じて視覚教材やICT学習によって、領域「言葉」において幼児が経験していく内容、他領域との関連、小学校教科国語とのつながり、幼稚園教育における評価の意義、保育実践の動向や現代的課題等を理解して、保育構想の向上へと取り組む力を習得する。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義や演習を含めて、受講者の相互理解を深めながら進める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	「幼稚園教育の基本」と領域「言葉」の位置づけ	幼稚園教育要領等で示されている領域「言葉」の位置づけや「ねらい」、「内容」について理解する。	☐
第2回	領域「言葉」と小学校教科国語とのつながり	幼児期の言葉の育ちは小学校の学びに繋がっていることを学ぶ。	☐
第3回	幼児期における遊びを通した言語活動と教材研究	言葉に関連する遊びや言葉を促す教材研究について学ぶ。	☐
第4回	幼児期における遊びを通した言語活動と教材の活用	言葉に関連する遊びや言葉を促す教材の活用について学ぶ。	☐
第5回	領域「言葉」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器・保育教材の理解	補助教材としてのICTを活用した言語活動や情報機器の活用について理解する。	☐
第6回	領域「言葉」における指導計画とその評価と改善	指導計画を作成するための意味と評価について理解する。	☐
第7回	幼児期における遊びを通した言語活動の模擬保育	言葉の遊びを使用した模擬保育を行う。	☐
第8回	まとめ	本授業のまとめと内容の理解度を確認する。	☐
第9回			☐
第10回			☐
第11回			☐
第12回			☐
第13回			☐
第14回			☐
第15回			☐

■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
・事前学習として、授業と課題への取り組みを行い、整理する(2時間程度)。 ・事後学習として、授業の資料等を参考に提示されたことをノート等でまとめて、振り返りをする(2時間程度)。

■ 課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
課題等については授業時間内に適宜、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	幼稚園教諭・保育士になるための免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	幼稚園・保育所をはじめとする就学前施設での幼児教育・保育に主体的・協働的に携わることのできる幅広い人間力を体得している。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 「授業内試験」：授業内容の進捗確認として実施する。領域「言葉」に対する理解度について評価する。(30%) 「その他」：各種課題の提出状況や模擬保育の成果について評価する（提出期限も含める）。(70%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	幼稚園教育要領解説	9784577814475
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		